

5月に放獣したツキノワグマについて

○平成24年5月9日捕獲の事例

- 1 捕獲の状況
 - (1) 捕獲場所
豊根村大字坂宇場字上中村地内
 - (2) 捕獲方法
ハコワナ(捕獲目的 許可捕獲)
 - (3) ツキノワグマの状況
オス1頭
体重 110kg 体長 145cm 体高 73.5cm 15才くらい
- 2 経緯

4月23日 豊根村役場に住民からフン及び足跡の目撃情報

4月30日 豊根村役場に住民から再度フン及び足跡の目撃情報
豊根村が住民の安全確保のため、放獣対応の捕獲許可証の交付

5月1日 目撃場所付近に捕獲用ハコワナを設置

5月9日 朝 クマが捕獲されているのを確認

同日 8:45 新城設楽振興事務所から自然環境課へ捕獲情報の連絡

同日 午前 信州大学農学部 泉山教授(愛知県ツキノワグマに関する専門家会議構成員)に放獣に関する助言を依頼

同日 16:30 専門家現場到着

同日 19:00 クマの状態、現場の状況を判断したうえで放獣

同日 19:30 記者クラブ投げ込み
専門家会議委員へ報告



捕獲状況



計測状況

○平成24年5月24日捕獲の事例

- 1 捕獲の状況
 - (4) 捕獲場所
豊根村大字古真立字クワ瀬地内
 - (5) 捕獲方法
くくりわな(捕獲目的 ニホンジカの個体数調整)
 - (6) ツキノワグマの状況
オス1頭
体重 34kg 体長 107cm 体高 56cm 3才半くらい
- 2 経緯

8:00頃 わなの設置者が、くくりわなにクマが捕獲されているのを発見

8:30頃 発見者から豊根村役場へ報告

9:15 新城設楽振興事務所(以下事務所)から報告

9:30 信州大学農学部 泉山教授(愛知県ツキノワグマに関する専門家会議構成員)にくくりわなにかかった熊の確認・対処方法の助言を受ける。

12:15 専門家現場到着

13:30 クマの状態、現場の状況を判断したうえで放獣

17:00 記者クラブ投げ込み



捕獲状況



計測状況

ツキノワグマに関する専門家会議の設置について

1. 目的

愛知県及び県内関係市町村がツキノワグマに関する対策を進めるための専門的な助言を与えることを目的とする。

2. 組織

(1) 構成

構成員

所 属	氏 名
愛知学院大学歯学部	子 安 和 弘
名城大学農学部	新 妻 靖 章
愛知県猟友会会長	北 川 養 正
いきものの森復元研究会	宇都野 信 清

アドバイザー

所 属	氏 名
岐阜大学応用生物科学部	浅 野 玄
信州大学農学部	泉 山 茂 之

オブザーバー

所 属
岐阜県 環境生活部 清流の国ぎふづくり推進課
長野県 林務部 森林づくり推進課 野生鳥獣対策室

(2) 隣接県との連携

長野県、岐阜県及び両県からクマ対策を受託している大学と連携し助言を得る。

- 長野県・・・信州大学農学部
- 岐阜県・・・岐阜大学応用生物科学部

3. 検討項目

(1) 中長期の検討項目・・・生態系ネットワークの形成

- 人と獣類とが棲み分け可能な地域づくり
 - 奥山・・・針葉樹林の広葉樹林化等
 - 里地・・・バッファゾーン形成（耕作放棄地の整備や住居付近の下草刈り等）

(2) 短期の検討項目・・・予防と予報

- クマの出没時の対応について県民向けマニュアル改定
- 錯誤捕獲を行わないための対策
- クマ出没予報の提供
 - 長野県や岐阜県の出没予想を入手し、県内での出沒に備える。

(3) 緊急時(錯誤捕獲や危険時)の対応

- 行政向けマニュアルに基づき、錯誤捕獲や人命への危険時の対応について助言を行う。

4. スケジュール

平成23年度実施

- マニュアル（暫定補足版）の作成
- ツキノワグマに関する専門家会議の設立
- 尾張・西三河、新城設楽クマ対策協議会の設立

平成24年度予定

- ツキノワグマ対応ガイドライン策定
- 堅果類（ドングリ）豊凶調査
- 県民へのツキノワグマ出没予想の提供
- 県民へのクマに関する知識の普及啓発事業

